

## 富士山における遭難事故件数等の推移(過去10年間)

年	2003	2004	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012
遭難件数(件)	30 (13)	33 (13)	22 (12)	25 (12)	33 (14)	48 (10)	48 (11)	59 (17)	56 (18)	62 (27)
遭難者数(人)	46 (15)	37 (15)	30 (15)	30 (15)	40 (17)	56 (13)	57 (13)	66 (17)	61 (22)	76 (34)
うち死亡・ 行方不明者数(人)	1 (1)	5 (5)	7 (4)	4 (3)	3 (3)	8 (3)	10 (4)	8 (4)	6 (4)	13 (12)
登山者数(人)	—	—	200,292	221,010	231,542	305,350	292,058	320,975	293,416	318,565

※( )内は、夏山期間以外の遭難件数、遭難者数、遭難死亡者数。 ※登山者数の調査は、環境省が2005年から各登山道の八合目付近に赤外線カウンターを設置して行っています。

### 遭難・事故例

- 2012年3月9日午前0時35分、寒さから行動不能となった38歳男性から110番で救助要請。  
午前8時50分に再度の救助要請があり、山岳救助隊が捜索に向かったが発見できず。当日を含め5日間捜索したが未発見。夏になり、遺体発見。
- 2012年12月5日午後2時頃、滑落して左腕を骨折した46歳男性から110番で救助要請。  
午後3時10分、県警ヘリと登山口から山岳救助隊が捜索に向かったが、強風のためヘリが接近不能で発見できず。午後6時30分、日没で捜索中止。翌日、遺体発見。

## 富士山頂における過去10年間の月毎平均気温

年	2003	2004	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012
1月	△ 19.1	△ 20.0	△ 18.9	△ 18.7	△ 16.9	△ 16.8	△ 17.9	△ 18.4	△ 22.5	△ 19.9
2月	△ 16.5	△ 17.1	△ 17.0	△ 14.2	△ 15.9	△ 20.4	△ 15.1	△ 14.5	△ 15.2	△ 18.0
3月	△ 15.9	△ 14.3	△ 15.9	△ 15.8	△ 15.0	△ 13.8	△ 14.7	△ 11.4	△ 18.1	△ 14.7
4月	△ 5.4	△ 7.3	△ 8.1	△ 10.1	△ 11.2	△ 8.9	△ 8.6	△ 8.9	△ 11.1	△ 9.6
5月	△ 2.2	△ 0.2	△ 3.8	△ 1.4	△ 5.1	△ 2.6	△ 3.0	△ 4.0	△ 3.5	△ 5.6
6月	1.7	2.6	2.5	1.6	1.3	1.3	0.2	1.4	1.3	1.1
7月	3.4	5.7	4.8	5.2	5.1	6.3	4.6	5.8	6.9	5.6
8月	6.4	6.0	6.0	6.9	6.4	6.2	6.6	8.3	6.8	7.1
9月	4.1	3.8	4.5	3.7	5.4	3.7	3.4	4.6	4.1	3.5
10月	△ 2.8	△ 1.0	△ 1.1	△ 1.6	△ 2.4	△ 2.5	△ 3.7	△ 0.5	△ 2.0	△ 2.9
11月	△ 5.1	△ 7.5	△ 11.4	△ 8.9	△ 9.7	△ 10.4	△ 7.9	△ 10.0	△ 6.5	△ 11.2
12月	△ 14.9	△ 12.8	△ 21.4	△ 13.6	△ 15.2	△ 14.2	△ 15.0	△ 15.5	△ 16.4	△ 16.7

※気象庁ホームページ 気象計情報 過去10年間の年月日毎の値より引用 ※△はマイナス気温

## 登山計画書の提出先

- 登山計画書を提出するほか、遭難に気付くことができる方(家族、山岳会、職場、学校など)に計画を知らせておきましょう。
- 登山計画書は、一週間程度の余裕を持ち、早めに提出しましょう。
- 登山計画書は「富士登山オフィシャルサイト」(<http://www.fujisan-climb.jp>)から入手できます。

<b>吉田ルート</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●山梨県警察本部地域課 〒400-8586 山梨県甲府市丸の内一丁目6番1号 TEL 055-235-2121 FAX 055-224-1180</li> <li>●富士吉田警察署 〒403-0016 山梨県富士吉田市松山五丁目10番13号 TEL 0555-22-0110 FAX 0555-22-0110</li> <li>●登山口の登山届ポスト</li> </ul>
<b>須走ルート</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●静岡県山岳遭難防止対策協議会東富士支部 小山町役場住民福祉部地域防災課 〒410-1395 静岡県小山町藤曲57番地の2 TEL 0550-76-6111 FAX 0550-76-3050</li> <li>●御殿場警察署 〒412-0004 静岡県御殿場市北久原439-2 TEL 0550-84-0110</li> <li>●登山口の登山届ポスト(登山口入口付近の四阿(あずまや)横)</li> </ul>
<b>御殿場ルート</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●静岡県山岳遭難防止対策協議会東富士支部 御殿場市役所総務部総務課 〒412-8601 静岡県御殿場市萩原483番地 TEL 0550-82-4320 FAX 0550-82-4523</li> <li>●御殿場警察署 〒412-0004 静岡県御殿場市北久原439-2 TEL 0550-84-0110</li> <li>●登山口の登山届ポスト(登山道入口、入山門(鳥居)近くの案内看板横)</li> </ul>
<b>富士宮ルート</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●静岡県山岳遭難防止対策協議会富士宮支部 富士宮市役所産業振興部観光課 〒418-8601 静岡県富士宮市弓沢町150番地 TEL 0544-22-1111 FAX 0544-22-1385</li> <li>●富士宮警察署 〒418-0062 静岡県富士宮市城北町160 TEL 0544-23-0110</li> <li>●登山口の登山届ポスト(五合目登山道入口の富士山総合指導センター前、レストハウス内階段踊り場)</li> </ul>

※道路閉鎖期間中は、登山届ポストが撤去されることがありますので、上記まで郵送またはFAXにてお送りください。

■発行／富士山における適正利用推進協議会(事務局:環境省・山梨県・静岡県) ■監修／静岡県

■問合せ先

山梨県観光部観光資源課 TEL. 055-223-1521

静岡県文化・観光部交流企画局交流政策課 TEL. 054-221-3776

# 富士登山における安全確保のために

## 遭難事故防止と自然環境保全のため、ガイドラインを制定

日本で最も高い独立峰である富士山は、年間を通じて気象条件が厳しい反面、安易に入山する人もいるために、多くの遭難事故が発生しています。夏山期間(※)には毎年30万人以上の登山者が訪れ、夏山期間以外の時期も多くの登山者が見られます。富士山における遭難事故の防止や自然環境を保全するため、環境省、山梨・静岡両県、地元市町村及び観光事業者など関係機関等で構成される「富士山における適正利用推進協議会」では、「富士登山における安全確保のためのガイドライン」を策定しました。

※夏山期間とは、例年7月上旬から9月上旬までの登山道開通期間のことをいいます。



## 夏山期間以外の3つのルール

### 1 万全な準備をしない登山者の登山禁止

充分な知識やしつかりとした装備、計画などを持った方の登山は妨げませんが、万全な準備をしない登山者の登山は禁止です。オフシーズンは特に気象条件が厳しく、加えて登山道は全面通行止め、救護所・トイレも閉鎖、携帯電話が通じにくいなど、安全確保が困難です。

### 2 「登山計画書」を必ず作成・提出

登山は自己責任です。しかし、万が一の遭難、行方不明時の迅速な救助のため、登山する際には、行程、メンバー、装備、緊急連絡先などを記載した「登山計画書」を必ず作成・提出してください。なお、「登山計画書」を提出したからといって、登山道の通行を許可したことにはなりません。

※提出先は裏面に記載しています。

### 3 登山者として携帯トイレ持参はマナー

五合目以上にある山小屋や公衆トイレは、オフシーズンは閉鎖されています。万全な準備をした登山者が登山を行う場合、自然環境保全のため携帯トイレを持参してください。また、自らの排泄物は回収し、必ず持ち帰ってください。

※回収ボックス等は設置していません。